

立憲民主党公認

池田まさち



「古い政治」との決別は
北海道5区から

社会福祉士
精神保健福祉士
介護福祉士
防災士

今の日本は格差と貧困が拡大し、分断と排除がまかり通っています。

社会の多様性が脅かされ、国民の大切な情報が隠蔽され、一握りの人たちによる傲慢な政治が横行しています。

これからの政治は、

不信だらけの政治から「信頼できる政治」へ

「危機に機能する行政」へ

「いのち」と「暮らし」をまもる政治へ

「誰ひとり置いてきぼりにしない」社会へ

私、池田まさちは、政治が本来の役割を取り戻すその日まで、全身全霊で取り組む覚悟です。

「いのち」と「暮らし」をまもる

池田まさち 5つの政策

1 暮らしをまもる。

すべての人に安心を約束する普遍的社会保障消費税率を引き下げ物価高から暮らしをまもる

2 雇用をまもる。

中小企業を支援し持続的賃上げと格差是正非正規、フリーランスの待遇改善と権利確保

3 食・環境・命をまもる。

農業者戸別所得補償(直接支払制度)の構築「危機管理・防災庁」を設置し国民の命をまもる

4 地方をまもる。

地方への権限・財源移譲と公共サービスの拡充鉄道、バスなど地域公共交通を維持

5 平和をまもる。

憲法三原則をまもり専守防衛・平和外交を推進金権腐敗政治を終わらせる徹底的な政治改革

あなたを^{まも}る。

池田まさち元衆議院議員

1期4年の国会活動

「子ども総合基本法」など14本の議員立法を提出!!
池田まさちは2017年から2021年までの1期4年間、衆議院議員を務めました。「誰ひとり置いてきぼりにしない」の政治理念を貫くため、野党の新人1期生ながら福祉の現場20年のキャリアを生かし、「子どもの生活底上げ法案」はじめ「産後ケアセンター設置法案」「保育や介護の人材育成法案」など、計14本の法案を議員立法で提出。本会議に5回登壇、委員会質疑は計51回に及びました。

Profile 池田まさち

いのち・暮らし・平和を守る
ソーシャルワーカー

●1972年5月24日東京生まれ ●1997年から14年間東京都板橋区福祉事務所に勤務 ●2011年北海道へ移住。フリー・ソーシャルワーカーとして災害福祉、権利擁護などで活動 ●2015年北海道大学公共政策大学院修了(公共政策学修士・専門職) ●2017年第48回衆院選比例区で当選し、「児童虐待防止」「産後ケアセンターの設置」等に尽力 ●2021年衆院選は次点で惜敗 [趣味] 温泉、山菜とり、釣り、バレーボール [好物] 北海道の山菜・魚介類、道産米、チーズ

池田まさちオフィシャルWEBサイト

 <https://ikemaki.jp/>
池田まさち 検索

比例区は
立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan